

# 南アフリカ通信 Vol.47

「イエー！」大使館対策本部で3度目の雄たけびを上げた。6月24日夜、デンマークのゴールネットが揺れるたびに力が湧いてくる。そして、決勝トーナメント進出！ルステンブルグで劇的な勝利にサポーターたちが酔いしれていたとき、座席や足下に置いた荷物が秘かに持ち去られた。ブルームフオンテンの勝利直後と同様、置き引き被害が続出したのだ。どうやら、窃盗団は主に勝利チーム側を狙うらしい。その証拠にダーバンではスタジアム内の被害が報告されていない。試合翌日、大使館の領事窓口は旅券発行を求めるサポーターたちで盛況だった。

前日も書いたが、勝利は偉大な被害に遭ったガツクリくるのが普通なのだが、この日の被害者たちは違った。皆明るい。「イエー、やられました」と言いつつ、すぐに前日の劇的な得点シーンの話になる。旅券を受け取ると「ニッポ



Gettyimages

ワールドカップで沸き立つ南アフリカ。

健闘した日本代表を応援したサポーターは無事だったのか。現地在住の日本大使館領事が最新の情報を直送する。

文・写真◎新保 剛

## 「盗難に遭っても笑うサポーター」



▲プレトリアのスタジアムには日本からのサポーターのほか、在留邦人も駆け付け、日本の戦いを見守った



▲スタジアムに立つ日本大使館スタッフ。日本人サポーターの心強い味方にお世話になった人も多いのでは

ン、ベスト4に行けますよ」と言いつつ、さよならの代わりにガッツポーズ。思わず、こちらも同じポーズで返す。

ありがたいことに大使館が恐れていた日本人サポーター絡みの交通事故はまた起きていない。強盗事件もわずかに2件で被害者が3人、一人が擦り傷を負ったただけ。ただし、犯罪者が休んでいるわけではない。6月21日には、ヨハネスブルグ郊外のファストフード店に6人組の強盗が押し入り、売上金を強奪する事件が起きている。この事件は在留邦人が多く住んでいる地区で発生した。駆けつけた警官隊が付近の高速道路で犯行グループに追いついて、銃撃戦の末に犯人1人を射殺、5人を逮捕した。日本でこんな事件が起きたら数日間トップニュースだろうが、こちらでの扱いは小さかった。

6月29日、決勝トーナメント1回戦。結果はご存じのとおりだ。筆者は今大会初のスタジアム観戦だったのだが、日本が鮮烈なシュートでブラグアイのゴールを制することはできなかった。本田選手が去り際に見せたクシャッとした泣き顔に、もらい泣きした。

著者プロフィール◎一等書記官兼領事。06年より在南ア共和国日本大使館に勤務。業務の1つに在留邦人と日本人旅行者の安全対策がある。2010年のワールドカップ期間中、日本人旅行者に安全情報を発信する

外務省海外安全ホームページ <http://www.pubanzen.mofa.go.jp>  
 在南アフリカ日本国大使館 [http://www.za.emb-japan.go.jp/index\\_jp.html](http://www.za.emb-japan.go.jp/index_jp.html)